

後発医薬品の薬価等について（その1）

1. 後発医薬品の薬価等に関する事項のうち、以下の事項については、お互いに特に深く関連することから、これまでの意見を踏まえ、一括して関係の資料をとりまとめた。

○後発医薬品の収載品目数と薬価の大幅なばらつき等について

一つの先発医薬品に対して、後発医薬品が20超のものがあること、後発医薬品間の価格が大幅に異なることについて、後発医薬品の品目数と価格設定をどうするか。

○後発医薬品の当初の価格設定について

後発医薬品の当初の価格設定は先発医薬品の7割であるが、この価格水準を検証してはどうか。

<資料>

○後発医薬品を巡る現状

- ・後発医薬品の承認審査における近年の動き（薬-1-2）
- ・後発医薬品使用に係る先発医薬品と後発医薬品との価格差等の影響
（薬-1-3）
- ・後発医薬品のシェアの推移（薬-1-4）

○後発医薬品の価格の下落率、品目数、価格のバラツキに関する資料

（薬-1-5）

2. 後発医薬品の当初の価格設定、収載品目数と薬価の大幅なばらつき等への対応については、後発医薬品の使用促進の視点を認識しながら、資料で示された現状を踏まえつつ、過去の取り扱い等を参考としてはどうか。